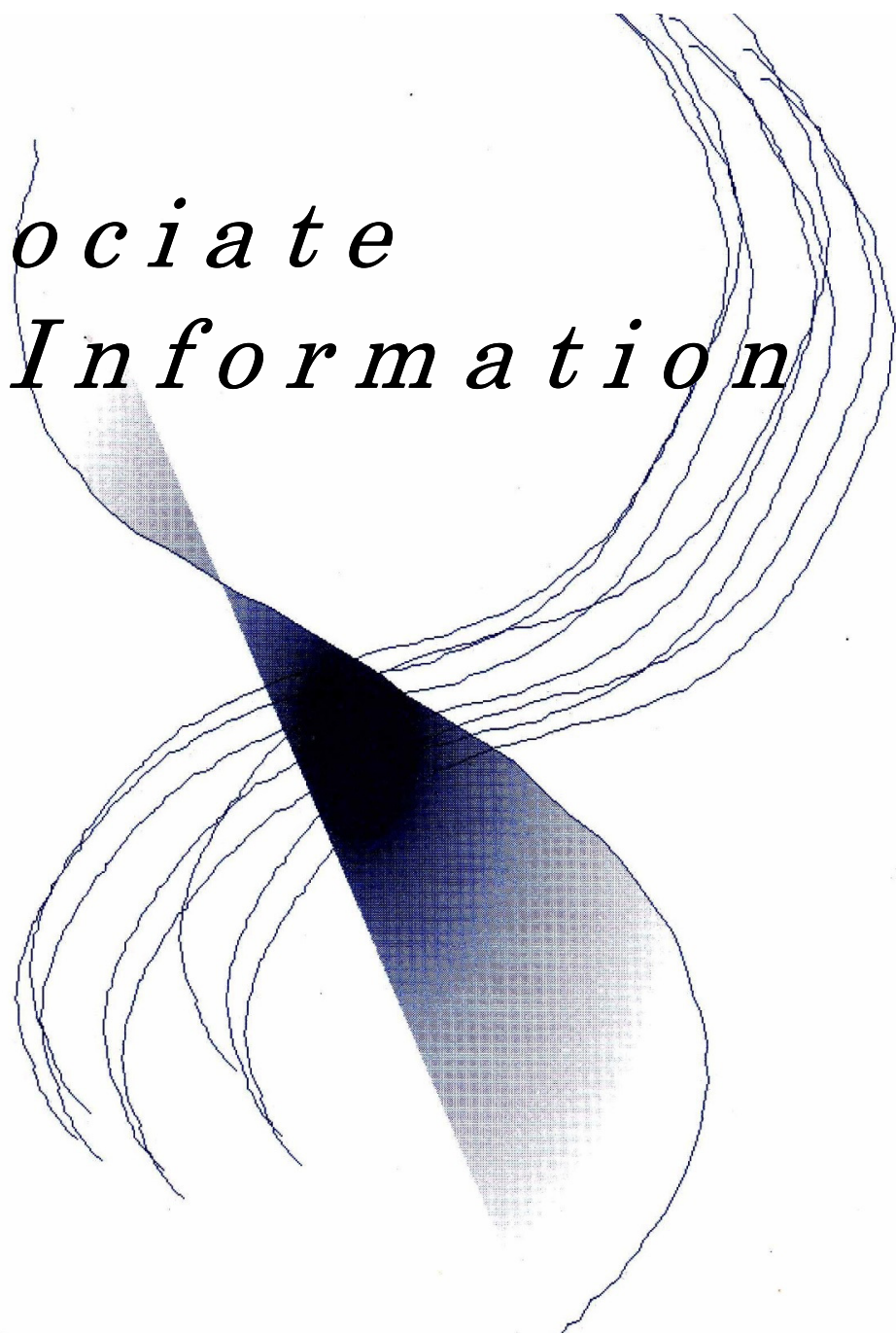


2019. 5

No 509



*Associate
Information*



公益社団法人 大阪技術振興協会

目 次

★ひ と こ と	技術士（金属部門）	長野 博夫	1
川の流れるように～一技術士の生き様～			
★技 術 の 話 題（1）	技術士（建設，総合技術監理部門）	窪田 元恢	2
関西空港連絡橋の耐風安定性			
★技 術 の 話 題（2）	技術士（化学，総合技術監理部門）	丹生 光雄	3
化学物質管理と技術士会の化学物質管理制度について			
★ほ ん だ な	技術士（建設，総合技術監理部門）	岸田 順三	4
これからの経済学；第1編「ドーナツ経済学が世界を救う（人類と地球のためのパラダイムシフト）」（紹介）			
★文 化 記 事	技術士（機械部門）	山崎 洋右	6
日本の桜と日本人の心			
★会 員 の 広 場	技術士（繊維，総合技術監理部門）	神野 友香子	7
“平成最後”の・・・徒然なるままに。			
★公益法人 大阪技術振興協会 平成30年度 第5回理事会 議事録			8
★部 会 報 告			12
機械システム部会，技術士業務研究会			
★2019年度定時総会開催のお知らせ			13
★部会開催のお知らせ			14
技術士業務研究会，食品部会			
★編集委員会からのお知らせ			14
（1）9月防災・減災特集号原稿の募集			
（2）第2弾「協会誌作品10選」の発刊について			
★事務局だより			15
（1）お詫びと訂正			
（2）新入会員紹介			
（3）大阪科学技術センタービル休館のお知らせ			
★編 集 後 記			16

川の流れるように～一技術士の生き様～

技術士（金属部門） 長野 博夫

今回は身近なこととして、一技術士の日常生活に触れてみた。書いてみると、自分の紹介に終始している感じで忸怩たる思いがするが、一技術士の日常を知っていただければ幸いである。

1. 会社業務

鉄鋼会社を定年退職し、広島大学の教官になり、3年間ベンチャービジネスラボラトリーの施設主任を務めた。そのとき、大学発ベンチャー(株)材料・環境研究所を立ち上げた。以来、17年間腐食・防食技術を主体にコンサルティングを続けている。鉄鋼会社の研究所に勤めていた時に培った経験、知識が大変役立っている。コンサルティングは知識の集約、創造性、チャレンジ精神、サービス精神などが要求され、日々やりがいと責任を感じる。業務の特徴として、よく考え、よく学び、時には、クライアント会社との共同実験などを通じて、依頼された問題を解決する。

国際会議を通じて知り合った中国上海材料研究所の幹部の方と懇意になり、その後、10数年にわたり彼と一緒に中国の鉄鋼会社、化学会社で技術指導や講演をしたこともある。

2. 大阪技術振興協会の業務

大学教官時代に大阪技術振興協会の技術士受験セミナーのお世話になり、中島辰治先生（金属部門）のご指導で試験に合格でき、当振興協会の会員になった。当協会における仕事として、現在、技術士受験セミナーの講師および監事を続けている。

監事は、かれこれ6年間担当している。監事の仕事は、会計監査と業務監査を担い、年間当たり随時監査と年度末の監査を行う。それ以外に年五回の理事会への出席や総会への出席などがある。高坂嘉勝監事、坂本良高監事と3人で、会計の健全性確保や協会事業の持続可能な発展に寄与すべく、無い知恵を絞るこの頃である。

3. 趣味

人間は仕事だけでは生きられない。自分に合った趣味を見出すことにより、日常生活を楽しくし、また、健康維持に役立てられる。

1) 趣味としての英語と中国語

外国語の勉強は、外国人と交流し、その外国を理解し、世界を視野において科学技術情報の授受を可能にする。海外旅行で現地の言葉を使えば、旅行の楽しみは倍増する。

愛知県の片田舎の中学校で初めて英語を学んだ時の新鮮さは今でも脳裏に刻まれている。また、会社に就職してから、会社帰りに、モルモン教の若い宣教師による無料英会話教室に通ったことがあった。その時に、自分の発音がなっていないことを悟らされた。幸い、当時は英会話勉強の仲間ができた。ほぼ、同世代で、一人は英会話教室を開いており、一人は外資系会社に勤める技術者であった。彼らの英語の発音に対する関心の高さや発音のすばらしさに魅了された。その後、発音に努力して、会話力も国際会議などで通用するようになり、また、英検一級、国連英検A級に合格した。50歳代で米国ミネソタ大学にて1年間研究生活を送ったことは、今の仕事に大変役立っている。

一方、中国語に関しては、実用レベルには程遠い。中国文化、特に漢詩に興味を持って、中国語を勉強し出してもう10数年になる。中国語の発音には四声と言われる音階の抑揚があり、この習得が難しい。

考え抜いた末、中国語の発音及び聞き取りには、漢字に頼らず、ピンイン（アルファベットによる漢字の発音記号）重視で行うことにした。中国語を一見英語のようにアルファベットをイメージして聞き、書き、発音する勉強法でやっている。これにより、聞き取りと発音が中国語らしくなり、希望が開けてきた。もう1年間、我慢して勉強するつもりである。

2) ゴルフ

ゴルフは38歳で始めて、今に至っている。今では、寒い冬、暑い盛夏を除いた季節に、月1~2回の頻度で楽しんでいる。仕事でパソコンを使ったり、文書を読み書きすることが多いので、ゴルフ場で遠くを見つめてプレーするのは、目の疲れを癒すのにもってこいである。

つい最近、練習場の常連の一人から話しかけられ、バンカー（砂池）からのボールの出し方でヒントを得た。すなわち、バンカーショットは、サンドウェッジのバウンスで砂とともにボールを出すことが重要である。こんな話をすると、ゴルフ仲間からは「今になってお前は何を言っているのか？」と馬鹿にされると思う。ともかく、バウンスの役割を知って、バンカー脱出がいつも容易になった。人の言うことには、何事も貴重なアドバイスになることが多いと肝に銘じている。

3) 散歩

ウォーキングが好きである。事務所の前を流れる神戸市随一（私はそう思っている）の清流住吉川の河畔をよく散歩する。大学の同期でノーベル賞を受賞した益川俊英先生がノーベル賞受賞談話として、歩きながら考えるのが習慣だと言っていた。川面を見ながら散歩すると、確かに考えが閃く時がある。

住吉川には、鮎の稚魚が放流され、4月になると、群れを成して泳ぐ姿が見られる。鮎はすばしっこく、カメラに収めるのは至難の業である。川には魚道が作られており、一度、ぜひ鮎の遡上を見たいと思っている。

4. 結び

技術士資格修得後、起業し現在に至る一技術士の日常を紹介した。後輩技術士、さらには、今後技術士を目指す若い技術者にご参考にして頂ければ、幸甚である。